

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152

メール info@takaoka-hongwanji.jp

◇臨時教区会開催

九月二十五日（月）午後二時から西本願寺高岡会館礼拝堂に教区会議員参集のもと、三十年度の臨時教区会を開催いたしました。冒頭、岡西法英教区会議長が教区における意思決定に関わる組会や教区会の役割、取り組みについて挨拶され、議事に入っては、議事録署名委員の指名（門田議員・齋藤議員）、教務所長の挨拶の後、平成二十九年高岡教区各種歳計決算（承認議案）についてご審議をいただき、七種の議案について、全議員のご承認をいただきました。

なお、この度の臨時教区会は通年六月、七月に招集・開催してりましたが、教区行事が輻輳いたしましたため九月の開催となりました。教区会では、上程議案に合せ、平成三十年度の予算が執行され上半期を終了することから、上半期の教区宗務を振り返ると共に、下半期に向けての確認について議員諸氏からご意見を頂戴することができました。

審議の概要については、同封の議案や教務所長の報告をご参照ください。

◇千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要団体参拝

～第十九回平和を願うつどいを開催～

九月十七日、築地本願寺第二伝道会館（蓮華殿）にて第一九回平和を願うつどいが二十一教区協賛のもと午後二時より行われた。高岡教区はこのつどいと翌十八日の千鳥ヶ淵法要の参拝と合わせて一泊二日の日程にて第一ブロック（水波・関野・伏木・五位組）を中心に団体参拝を行った。

十七日の平和を願うつどいは、龍谷大学前学長の赤松徹真本願寺史料研究所所長より、『本願寺教団のアジ



ア開教について」というテーマで講演を頂いた。先生は明治以降日本が、韓国や中国や東南アジアの地域の支配が進むとともに日本から移り住んできた人々に対して、本願寺だけでなく様々な仏教教団が寺院や布教所を設立していったが、そこには布教ではなく軍事力を背景にした統治であると言われた。

アジアの寺院はハワイやアメリカ本土と違って、人々が宗教的に集まる場所（寺院・布教所）ではなかった、と説明。また「ハワイやアメリカ本土には現在も多くの人々や寺院が残っているのに、もっとも多く長い期間、開教をしてきたアジア大陸は一九四五年以後多くの寺院が取り壊されたり日本に帰ってきたりしたのは、アジアには軍事的な支配が強かったから」と言われた。その後も現在の日本社会の状況や問題点などを先生の視点から述べられた。参加された方からは「大陸進出に本願寺が深く関

わっていたことをわかりやすく説明された」「敗戦に至るまでの本願寺教団のミスリードはどうして起きたか考えさせられた」との声があった。

十八日は、午前中は都内を観光や見学し、午後から行われる第三十八回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要がご門主様ご臨席で行われた。高校生の平和についての作文や平和の鐘の後、法要が始まり、参拝者全員が焼香を行い、非戦の誓いをあらたにした。次年度は第二ブロック（新湊・射水組）が中心となり団体参拝をする予定。

◇公聴会開催

去る九月二十日（木）午後一時半より西本願寺高岡会館礼拝堂において「公聴会」が約五十名参加のなか開催された。

今回の公聴会では、「二〇一七年度公聴会の経過報告」と「宗門総合振興計画第一期終了および第二期始動について」の報告が行われ、続いて「重点プロジェクトの取り組み」「宗門財政について（現行の賦課制度について）」「僧侶育成体系プロジェクト」説明が行われた。

参加者からは『平和に関する論点整理』から、なぜ『子どもの貧困』対策が導き出されるのか？論理性に欠けている」「これまで安保健制や憲法改悪など戦争に向かう動きに対して教団の姿勢を問うてきたが、『今、宗派として意見を取りまとめている』と言いつつ、結果、出てきたのが『論点整理』。未だに問われた事に応えておらず、なぜその手段が『子どもの貧困』なのかも意味不明」「総長が『教団の社会貢献をアピールする』と説明したと聞くが、難民や貧困に苦しむ子どもたちを教団の宣伝活動のダシしているのかと思えない」といった意見や、また公聴会自体について「大半の時間が『説明』に割かれ、また出された意見や質問に実質的に答えて

いないなど、そもそも『公聴会』になっていない」といった疑問や意見が出された。

宗派では、公聴会で出された意見などを集約し、今後の計画に繋げたいとしている。

★ダーナバザー開催

去る九月八日、西本願寺高岡会館において第二十二回ダーナバザー（寺族青年会主催・梁瀬聖志実行委員長）が開催され、生憎の雨にもかかわらず、大勢の買い物客が訪れ、思い思いに買い物を楽しんでいた。

このダーナバザーは寺院から提供された、法事などの際にいただく、昆布・椎茸・乾麺などの食料品や食器・工芸品などを販売するチャリティバザーで、福祉作業所との交流と支援などを目的として高岡教区寺族青年会が主催するもの。

小雨が降る中、開場前にはすでに八十名を超える来場者が開場を待ちわびていたが、事前に整理券を配布していたため、開場時にも混乱なくスムーズに入場することができていた。

会場内には寺院から集めた物品だけでなく、福祉作業所で作成した筆立てやクッキーなどの販売ブース、子どもを対象にした縁日屋台も出店しており、会場は終始にぎやかであった。中には両手いっぱい買い物を抱えていったん帰宅し、荷物を自宅に置いてから再度来場される方もおられた。

今回のダーナバザーの総売り上げ額は六十二万六千四百六十七円。売り上げは福祉作業所及び日本国際ボランティアセンター、国内の各被災地への義援金等として全額寄付される。次回ダーナバザーは二〇二〇年に開催予定。

御同朋の社会をめざす運動のコーナー

教区僧侶研修会で確かめられたこと

今年度の「御同朋の社会をめざす運動」推進僧侶研修会が、「人権に関する三つの法律に学ぶ―私たち自身の課題として―」をテーマに三回に渡って開催されました。

ご講師に、吉田樹さん(部落解放同盟北陸事務所)をお招きし、二〇一六年に同時施行された人権三法(障害者差別解消法・ヘイトスピーチ解消法・部落差別解消推進法)、その「背景(願い)」「意義」「今後の課題」等を中心に、講義をいただきました。

問題提起の中では、障害者基本法(二〇一一年改正・施行)とその具体法とも言える『障害者差別解消法』の施行により、障害者差別に関する法整備が進んだことを評価するとともに、法制定にいたるまでの国の対応の遅さと、差別撤廃へ向けた消極的姿勢を指摘されました。

また、ヘイト団体の活動醜悪化とヘイトスピーチの深刻化について事例を交えて説明され、それらを背景とした『ヘイトスピーチ解消法』について、そして、今なお続く部落差別の現状を述べられながら、その存在を初めて法律で明記したことにより、社会全体の問題としての視点を与えた『部落差別解消推進法』、以上三法について詳細な説明をいただきました。これらはいくまで行政上の一つのスタート地点に立っただけであり、今後も課題(人権侵害救済法の必要性、非限定的な差別禁止法への取り組み、保護対象の拡大など)は山積していると述べられました。

班別討議では、①この三法から何を学びましたか?、②人権の問題は私たちにとって、なぜ大切だと思われませんか?、という二点を中心に話し合いが進められ、「社会全体の人権意識が変わってきたように感じる」「差別問題に関して、もう、難しいとか、分からないでは通らない時代になった」など、法制定が人権意識の高まりの現れであると受け止められた意見や、「法律だけでは不十分と感じる」「法律は法律でしかない。一人一人がどう捉えていくかが大切」「もつと繰り返し研修が必要」と人権教育の大切さを再認識された意見、また「自分自身のヘイトスピーチに気づいていかなければならない」「御仏の前での平等感と私の現実は矛盾している」「苦悩の中にある人に目を向けてこなかった今までの自分に愕然とした」など、自らの課題として受け止める意見も多くありました。

阿弥陀如来のみ教えは、一人一人が尊重され、共に命輝く世界を理想とする教えです。その理想の社会を実現するために道を切り開いていくことこそが、本来の仏教徒の姿ではないでしょうか。

今回の研修では、単に法律の問題だけを学ぶことではなく、差別や排除の現実が、私たち仏教徒としての課題であることを改めて問われているように思います。

「ルールを定めても変わらない現状がある。これから必要なのは宗教の力、とりわけ仏教の力ではないか」

ご講師の言葉を胸に、今後も同朋運動の歩みを進めていきたいと思えます。

【教区同朋運動企画専門委員・糸岡組宝性寺 初瀬部真亮】

◇これからの日程（10/14～11/29）◇

10月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	青年布教使研修会打合
15		
17	会館消防訓練	
19	聖典セミナー	
23	会計検査	
24		仏婦広報委員会 長寿苑ビハーラ活動
11月		
14	常例法座	仏壮連絡協議会
20		
26	親鸞聖人を語る夕べ	
27	会館報恩講	
29	聖典セミナー	

☆お知らせ☆

高岡教務所では今年度もカレンダーの注文を受け承ります。お電話で注文頂ければご寺院宛に配達を致します。

※担当の高島までご連絡ください。

- 法語カレンダー・・・150円
- ほのぼのカレンダー・・・150円
- 月々のことば・・・700円
- 心に響くことば・・・120円

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋） **8,300円**

・1組（10袋） **500円**

お申込み先は・・・高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎10/20（土）：釋氏 真澄氏

（本願寺派布教使・京都府一念寺衆徒）

「世界にひろがるお念仏」

◎10/27（土）：釋氏 真澄氏

（本願寺派布教使・京都府一念寺衆徒）

「南無阿弥陀仏の輪」

□10/28（日）：河合 宣彰氏

（高岡教区川上組等覚寺）

◎10/27（土）：釋氏 真澄氏

（本願寺派布教使・京都府一念寺衆徒）

「大きな転機」

◎11/3（土）：釋氏 真澄氏

（本願寺派布教使・京都府一念寺衆徒）

「お念仏者との出会い」

◎11/10（土）：片江 哲海氏

（本願寺派布教使・佐賀県西福寺前住職）

「お立ち姿の阿弥陀様」

□11/11（日）：未 定

（富山教区）

【西本願寺高岡会館11月の常例法座】

ご講師：青木 哲隆

（高岡教区新湊組覚円寺）

ご講題：『未 定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。